

## 1-3-25 高山市指定文化財 千鳥格子御堂

高山市荘川町

指定年月日

昭和 46 年 10 月 7 日

指定理由

- 1、慶長元和（1596～1622）
- 1、御堂の格子がいわゆる千鳥格子で細工の妙

説明事項

今からおよそ 350 年前慶長元和の頃、この地区の了宗寺を建てた名工飛騨匠某が、その餘材で旧軽岡峠の辻に地蔵堂を造った。その地蔵堂の格子は檜の角棒を互いちがいに組んであるが、どこでどのように組み合わせたものか、外見では全くわからない立派な細工で、少しのくるいもなく、その出来映え妙に感心し、千鳥格子と呼ばれている。この地蔵堂は、昭和 34 年の新軽岡峠開削、平成 4 年の軽岡バイパスの開通にともない、旧軽岡峠の辻から新軽岡峠口を経て現在地へ移された。

高山市教育委員会

説明板より